DIAMOND®

取扱説明書

コードレススラブメッシュカッター

ＤＳＣ−１３

目次

コードレス工具の安全上のご注意・・・・・	１
油圧オイルの取り扱いについて・・・・・・・・	５
暖気運転について・・・・・・・・・・・・・・	６
本製品使用上のご注意・・・・・・・・・・・・	７
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	９
各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・	１０
蓄電池の取り付け・取り外し方・・・・	１１
充電方法・・・・・・・・・・・・・・・・	１１
作業前点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・	１５
スイッチロック機構について・・・・・	１５
ご使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・	１６
点検・保守・・・・・・・・・・・・・・・・・・	１７
カーボンブラシの交換方法・・・・・・・・・・	１８
油圧オイルの補充方法・・・・・・・・・・・・	１８

ご使用前に必ずお読みください

・このたびは株式会社 IKK コードレススラブメッシュカッターをお買い上げいただき、ありがとうございました。

・ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管して下さい。

8ML307

⚠ 警告 ⚠ 注意 の区分について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」「⚠注意」に区分してあり、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告　誤った使用方法をした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性のある場合

⚠ 注意　誤った使用方法をした場合、作業者が障害を負う人身事故につながる恐れのある場合および、機械の破損・故障が発生する恐れのある場合

なお、「⚠注意」と記載された事項であっても、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載してありますので、必ずお守りください。

コードレス工具の安全上のご注意

・ご使用前に安全上のご注意をすべて良く読み、理解したうえで正しくご使用ください。
・お読みになった後はお使いになられる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。
・火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために安全上のご注意は必ず守ってください。

⚠ 警　告

*誤った使用方法をした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。

◆この製品は、本取扱説明書で説明されている以外の用途には絶対にお使いにならないでください。

◆専用の充電器や蓄電池を使用してください。

・この取扱説明書または弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定された以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

◆正しく充電してください。

・この充電器は、定格表示してある電源で使用して下さい。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
・温度が0℃未満、または40℃を超える場合は蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、破裂や火災の原因になります。
・蓄電池は換気の良い場所で充電し、充電中は布などで覆わないでください。
・使用しない場合は、差し込みプラグを電源から抜いてください。

◆蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。

・短絡（ショート）防止の為蓄電池を保存する際は、必ず付属の電池カバーをかぶせて保管してください。

・釘袋の中など金属類と同じ袋や箱に入れて保管すると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

◆使用者以外近づけないでください。

・機械の使用者を特定し、それ以外の方が触れないようにしてください。

◆感電に注意してください。

・湿気はモーターの絶縁性を低下させ、感電事故の元になります。雨中、ぬれた場所、機械内部に水や油の入りやすい場所などでは使用しないでください。

・濡れた手で充電器の差し込みプラグに触れないでください。

◆作業台・作業場所はいつもきれいに保ってください。

◆保護メガネ・ヘルメット・ゴム底の安全靴をはいてください。

・ほこりが多く出る場合は防塵マスクと集塵機（集塵装置）を併用してください。

◆安定した場所・安定した姿勢で使用してください。

◆きちんとした服装で作業してください。

・だぶだぶの衣服・ネックレスなどの装身具・ネクタイ・袖口の開いたもの、首に巻いたタオルや編手袋などは機械の回転部に巻き込まれる恐れがあります。

◆引火・爆発にご注意ください。

・電動工具は使用中やスイッチの開閉時に整流火花を発します。ラッカー・ペイント・ベンジン・シンナー・ガソリン・ガス・接着剤などの引火や爆発の恐れがある場所での使用は危険ですので絶対に使用しないでください。

・密閉された部屋、坑内などの換気の悪いところでの使用も避けてください。

◆電動工具本体のスイッチを切り、充電池を電動工具から抜いてください。

・使用しない時、移動する時、点検・整備・修理をする場合

・刃物類・消耗品・付属品の交換や掃除・点検などの場合

◆スパナやレンチなどは必ず取り外してください。

・電源を入れる前に、使用した工具類が取り外してあることを確認してください。

◆不意な始動にご注意ください。

・スイッチに指をかけた状態で機械を動かさないでください。スイッチに指をかけていなくても移動中にスイッチが他の場所に引っかかる場合があります。

・蓄電池を電動工具にセットする前に、スイッチが切れていることを確認してください。

◆十分に注意して油断せずに作業を行ってください。

・安全に作業するために、無理な操作、能力以上の作業はしないでください。

・作業をする際は取扱方法、周りの状況などに常識を働かせ、十分に注意して作業を行ってください。

・高所での作業時には下に人がいないかもよく確かめてください。

・疲れている時、注意力が散漫な時は使用しないでください。

・充電器に差し込みプラグを差したままや、機械の電源を入れたままその場を離れないでください。

・使用中は刃物や回転部分、切り屑に触れたり体の各部を近づけないで下さい。

◆損傷した部品がないかを使用前に点検してください。

・使用前に蓄電池や保護部分に損傷がないかを十分点検し、正常に動作するか、所定の機能を発揮するかを確認してください。

・充電器の電源コンセントに差し込んだ時、ガタガタだったり、すぐ抜ける場合は使用を中止し、修理へ出してください。加熱して故障の原因となります。

・刃物および工具類は指定された純正部品を使用してください。また、刃物においては新品または新品同様で破損、欠陥のないものを使用してください。

・使用中に異常を感じたら直ちに使用をやめ、点検・修理を行ってください。

◆指定の純正部品をお使いください。

・当取扱説明書および弊社カタログなどに記載されている以外の付属品や消耗部品は事故やけがの原因になる恐れがありますので使用しないでください。

◆電動工具の修理は専門店に依頼してください。

・修理の際はお買い求めの販売店または株式会社 IKK にお申し付けください。

・ご自分で修理されますと、事故やけがの原因になります。

⚠ 注　意

*誤った使用方法をした場合、人身事故や機械の破損・故障が発生する可能性があります。

◆最大能力を超えた作業や急激な操作はしないでください。

・仕様欄にある本機の最大能力を確認してください。
・能力を超えた使用は機械の故障を招くだけでなく、大変危険です。
・急激な作業は機械の損傷や事故につながります。

◆電動工具は大切に取り扱ってください。

・誤って落としたり、ぶつけたりしますと外枠が変形したり、破損する場合があります。そのような時は必ず使用前に十分な点検を行ってください。

◆電動工具は次のような場所に保管してください。

・お子様の手が届かないところ、または錠のかかる不安定でない所
・温度や湿度の急変しない所
・直射日光や雨の当たらない、湿気のない、乾いた所
・引火または爆発の恐れがある揮発性物質の置いていない所

◆本体の風窓はふさがないでください。

・電動工具にある溝や風窓は電動工具の性能を発揮するうえで重要な働きをする部分です。ふさいだり、泥などが詰まったりしないようご注意ください。

◆指定以外の電圧で充電しないでください。

・充電が十分できなかったり、充電器が焼損するなど事故の原因となります。
・直流電流ではお使いにならないでください。
・指定電圧（100V）の上下10%以内でご使用ください。

<u>騒音防止規制について</u>

騒音に関しては、法令および各都道府県などの条例で定める規則があります。周囲に迷惑をかけないよう各条例で定める騒音規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、遮音壁を設けて作業してください。

油圧オイルの取り扱いについて 一般的共通事項

⚠ 注　意

*誤った使用方法をした場合、人身事故や機械の破損・故障が発生する可能性があります。

油圧オイルの種類

株式会社IKKではモービル・ヌトーH46を純正品としております。

モービル・ヌトーH46は国際ISO補助粘度グレード46（VG46）に相当します。

純正オイルはお買い求めの販売店または株式会社IKKへご用命ください。

取扱方法

◆目にはいったり長時間皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。
　・保護メガネや保護手袋を使用するなど対策を行い、取り扱いを行ってください。

◆使用しない時は容器のふたを締め、子供の手の届かない所に保管してください。

◆容器は内部に残留物(液体または蒸気)が残っているのでご注意ください。
　・容器を熱・炎・スパークあるいはその他の発火源に近づけないでください。破裂することがあります。
　・容器を加圧したり、切断、溶接、ろうづけ、はんだづけ、穴あけまたは、研削しないでください。爆発を伴って残留物が発火することがあります。

応急処置

◆飲み込むと下痢、嘔吐しますので絶対に飲まないでください。
　・目に入った場合は、直ちに十分な水で洗浄し、医師の診断を受けてください。
　・皮膚に触れた場合は、水と石けんで十分に洗ってください。
　・飲み込んだ場合は、無理に吐かせずに、直ちに医師の診断を受けてください。

保管方法

◆ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓してください。

◆直射日光を避け、暗所に保管してください。

廃 油 の 処 置

◆処理方法は法令で義務付けられています。法令に従い適正に処理してください。

◆海、河川、湖、その他川付近及び排水溝に廃棄しないでください。火災の危険があるだけでなく、 環境汚染につながります。

◆ご不明な点がおありの場合は、購入された販売店におたずねください。

油 圧 オ イ ル の 特 徴

◆油圧オイルは高温になると粘度が落ち、低温になると粘度が高くなります。

・夏場での使用や、連続切断によって電動工具本体の温度がおよそ60℃を超えると油圧オイルの粘度が低下し、切断力がダウンします。このような場合は一度作業を休んで本体を冷やし、再度使用してください。

・冬場や寒冷地では油圧オイルの粘度が過度に上がり動きが鈍くなる場合があります。このような場合は使用前に30～60秒の無負荷の暖気運転を行ってください。

◆油圧オイルには火気を近付けないよう注意してください。

・運転中、または機体の温かい時は、オイルプラグを外さない。

・油圧オイルの補給は、本体が良く冷えてから行う。

・油圧オイルの補給は、周囲に可燃物のない場所を選び、こぼさない。こぼれた時はよく拭き取る。

・油圧オイルの補給時や運転中はたばこを吸わない。

・作業する時は、油圧オイルを補給した場所を離れて行う。

暖 気 運 転 に つ い て

寒冷地における油圧オイルの特徴

冬場や寒冷地では油圧オイルの粘度が過度に上がり動きが鈍くなる場合があります。このような場合は油圧オイルを温める必要があり、使用前に30～60秒の無負荷状態での運転を行う必要があり、これを暖気運転と呼びます。

暖気運転の方法

暖気運転は材料を挟まない無負荷状態でスイッチを入れて行います。モーターが連続して動きますのでこの状態でしばらくそのままにし、油圧オイルを温めてください。

⚠ 警　告

・この時、絶対に可動部周辺に手を近づけないでください。

本 製 品 の 使 用 上 の ご 注 意

先に電動工具としての一般的注意事項を述べましたが、これからご使用いただくコードレススラブメッシュカッターについてはさらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

*誤った使用方法をした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。

◆正しい用途で安全作業をしてください。

・本機は「コンクリート補強に使用する鉄筋(スラブ筋)の切断」を目的とした電動工具です。この用途以外にはご使用できません。

◆最大能力を超えた作業はしないでください。

・仕様欄にある本機の最大能力を超えた作業はしないでください。

・PC鋼線などの硬い材料の切断は行わないでください。

◆使用中は工具本体を確実に保持してください。

・置いて使用する際は、水平で安定した場所でご使用ください。

◆使用中は刃物類や可動部分に触れたり手や顔などを近づけないでください。

◆保護メガネ・ヘルメット・ゴム底の安全靴をはいてください。

・ほこりが多く出る場合は防塵マスクと集塵機（集塵装置）を併用してください。

◆スイッチが入る状態でその場を離れないでください。

◆不安定な材料を切断すると危険です。

・材料を切断した際に、切断片が勢いよく飛ぶことがあります。

・材料を手で持ったり、足で固定したりしての切断はしないでください。切り口が斜めになったり、切断片が飛ぶ事があり危険です。

⚠ 注　意

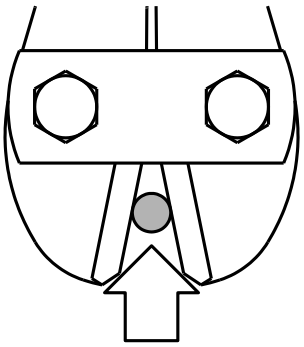
*誤った使用方法をした場合、人身事故や機械の破損・故障が発生する可能性があります。

◆刃物（カッターブレード）や付属品は正規の位置に確実に取りつけてください。

・指定された純正部品で新品または新品同様の破損・欠陥の無いものを、指定された方法でとりつけてください。

◆材料はカッターブレードの間に深くはさんでください。

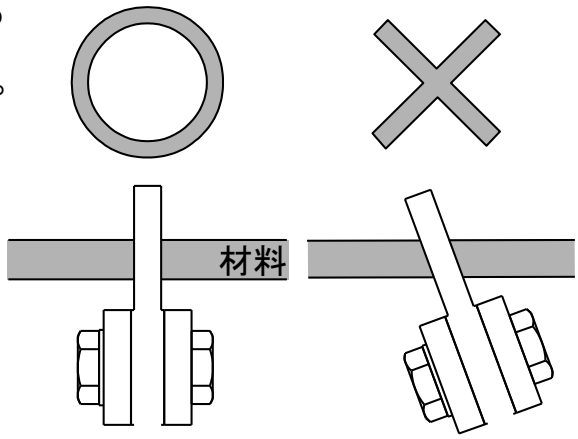
・材料はカッターブレードの間に深くはさみ、切断してください。浅い位置や斜めの状態で切断しますと、カッターブレードや本体の損傷・事故につながります。また、材料の切断不良にもなります。



材料を深くはさむ

◆材料はカッターブレードに対し、垂直にセットしてください。

・斜めになると、大きな負荷がかかり、機械やカッターブレードを破損する恐れがあります。



◆高所作業時は下に注意してください。

・高所での作業時は、下に人がいないことを良く確かめて作業してください。

◆異常が起きたらすぐ、運転を中止してください。

・機械の不調や異常に気がついた場合は、直ちに運転を止めてください。

◆鋭利な切断片や切りくずに注意してください。

・特に切りくずは鋭利で刺さりやすいため、革手袋を使用し、エアーガンなどで吹くことはやめてください。

◆切断力が落ちたら、一度休んで本体を冷やしてください。

・本体の表面温度が60℃を超えると、油圧オイルの粘度が低下し、切断力が低下します。夏場や連続使用時は特に高温になりやすいのでご注意ください。

◆冬場や寒冷地でご使用の際は、暖気運転をしてください。

・冬場や寒冷地では油圧オイルが固く、動きにくいことがありますので、使用前に30～60秒の無負荷状態での暖気運転を行ってください。

◆蓄電池2本以上の連続使用はしないでください。

・満充電の蓄電池を2本以上連続して使用しないでください。モーターが焼損する恐れがあります。

・2本以上連続して使う場合は、モーターを十分に休ませ、冷ましてから使用してください。

◆指定以外の蓄電池は使用しないでください。

◆本体の風窓はふさがないでください。

・電動工具にある溝や風窓は電動工具の性能を発揮するうえで重要な働きをする部分です。ふさいだり、泥などが詰まったりしないようご注意ください。

仕　　様

型　　式	DSC－13	標準付属品
切断能力	SD345　D13以下	工具セット スパナ　17×19mm　21mm 六角棒レンチ　4mm オイルポット(油圧オイル70cc) 充電器(UC24YJ) 蓄電池(EB1430R) トライウォール収納ケース
切断本数	D13　約120本／1チャージ	
切断速度	約3秒	
電源・電流	DC18V	
外形寸法	(L)750×(W)165×(H)350　mm	
質　　量	13．0kg（蓄電池含む）	

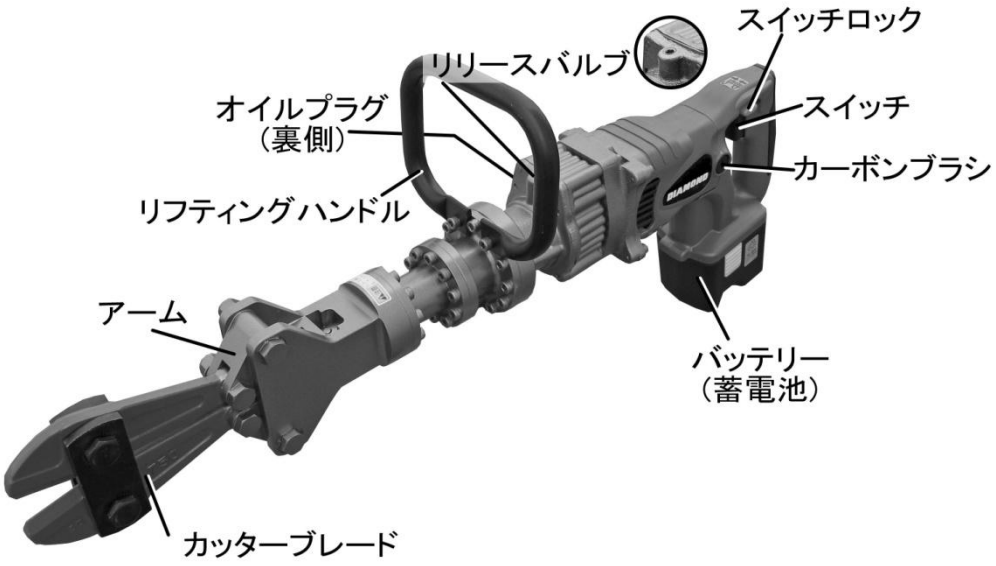
充電器仕様

型　　式	UC24YJ
入力電源	単相交流　100V　50/60Hz
充電時間	約28分（気温20℃）

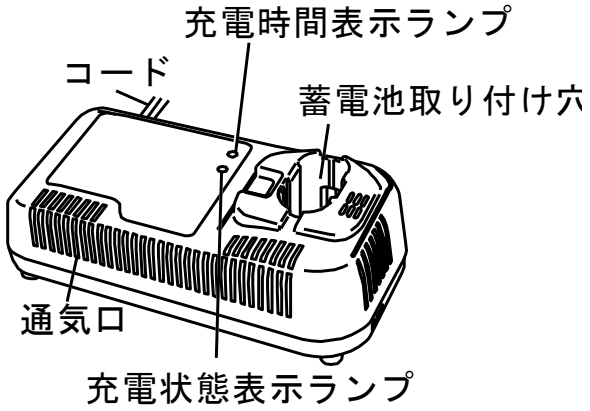
蓄電池仕様

型　　式	EB1830H(ニッケル水素電池)
電　　圧	DC18V
容　　量	3．0Ah

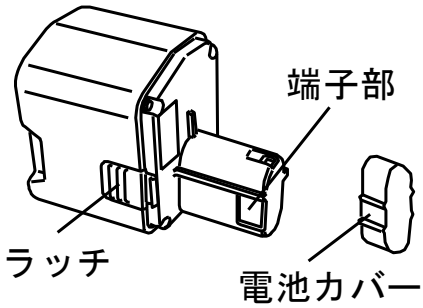
各　部　の　名　称



充電池 （UC24YJ）



蓄電池 （EB1830H）



（短絡防止のため蓄電池に
かぶせて保管して下さい）

用　　途

コンクリート補強用に使用する鉄筋(スラブ筋)の切断作業。

⚠ 注　意

・能力以上の材料の切断は、機械の故障の原因となりますので、材料の材質、および材料径を必ず確認してください。

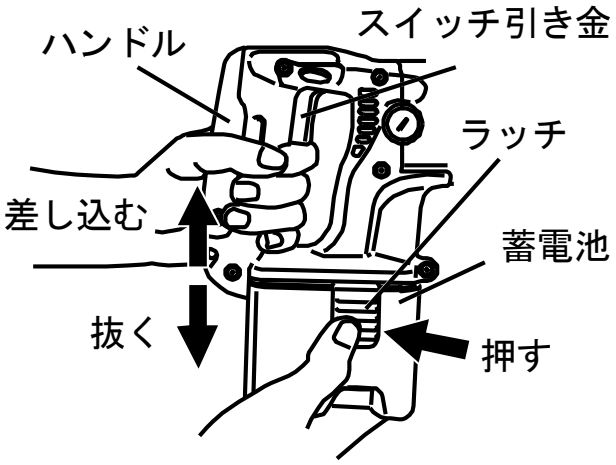
・PC鋼線や高強度鉄筋などの硬い材料は切断しないでください。

蓄電池の取り付け・取り外し方

⚠ 注　意
・蓄電池の取り付け、取り外しの際は、「スイッチロック」をロック側（右側）へ押しこみ、必ずスイッチが切れていることを確認してください。 ・スイッチに指をかけて取り付け、取り外しを行わないでください。

1．蓄電池の取り付け方

機械本体をしっかり支え、蓄電池の取り付け方向に注意して「カチッ」と音がするまで蓄電池を差し込みます。



2．蓄電池の取り外し方

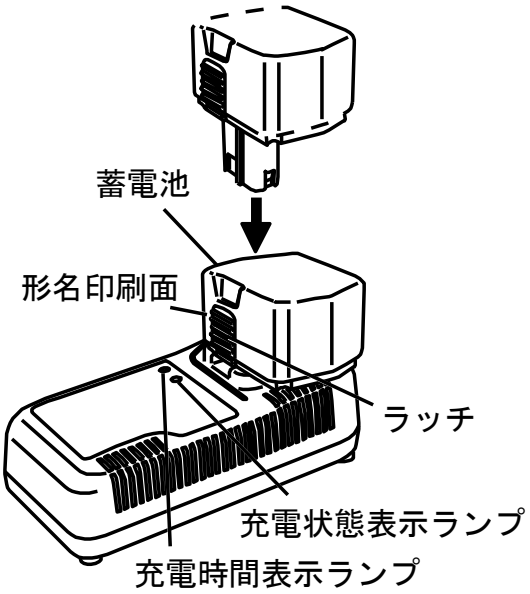
工具本体をしっかり支え、蓄電池両側のラッチを押しながら下へ抜きます。

充　電　方　法

1．充電器の差し込みプラグを電源コンセントに差し込む

充電器の差し込みプラグを電源コンセントに差し込みますと、充電状態表示が赤の点滅（周期1秒）を繰り返します。

2. 蓄電池を充電器に取り付ける



蓄電池を左に示す向きで、充電器の底に当たるまでしっかりと差し込みますと充電を開始し、充電時間表示ランプが赤/橙/緑のいずれかに連続点灯して充電完了までの時間をお知らせします。

3. 充電する

(1) ランプの表示について

この充電器は充電時間の目安を表示する充電時間表示ランプと充電状態を表示する充電状態表示ランプがついています。

(a)充電時間の表示について

充電を開始し、充電時間表示ランプが赤に連続点灯すると約30分、橙に連続点灯すると約20分、緑に連続点灯すると約5分で充電が完了します。充電が完了すると充電状態表示ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と約6秒鳴ります。

(b)高温待機の表示について

蓄電池の温度が高くなっていると充電を開始しません。この場合は、充電時間表示ランプが赤の点滅(周期0．6秒)を繰り返しますので、そのまま充電器に差し込んでおいて下さい。蓄電池が冷めると自動的に充電を開始します。

(c)充電不可の表示について

充電器または蓄電池に異常がある時は、充電状態表示ランプが橙の早い点滅(周期0．2秒)を繰り返し、ブザーが「ピッピッピッ」と約5秒鳴ります。

ランプの表示

ランプの表示				表示内容
充電時間表示ランプ（赤/橙/緑）	充電時間　30分	赤点灯	連続点灯	充電完了まで約30分
	充電時間　20分	橙点灯	連続点灯	充電完了まで約20分
	充電時間　　5分	緑点灯	連続点灯	充電完了まで約　5分
	高温待機	赤点滅	0．3秒点灯/0．3秒消灯	蓄電池の温度が高くて充電できない。 （温度が下がると自動的に充電を開始します。）
充電状態表示ランプ（赤/橙/緑）	充電前	赤点灯	0．5秒点灯/0．5秒消灯	電源に差し込んだ状態
	充電完了	橙点灯	連続点灯	
	充電不可	緑点灯	0．1秒点灯/0．1秒消灯	充電器または蓄電池に異常あり

（2）　充電時間について

蓄電池の充電時間は次のようになります（気温20℃）。

蓄電池	充電時間
EB1830H	約28分

*気温や電源・電圧などの事情により時間は変動する事があります。

4．充電器の差し込みプラグを電源コンセントから抜く

コードを引っ張らず、差し込みプラグを持って抜きます。

5．蓄電池を充電器から抜く

充電器を手で支え、蓄電池を充電器より抜き取ります。これで充電完了です。

6．蓄電池の活性化（トリクル充電）について

新品または長期間使用しなかった蓄電池は、内部の化学物質が不活性（ねぼけ）になっているため、満充電にならない事があります。このような時は、充電完了後も約8～12時間蓄電池を差し込んだままにして下さい。自動的にトリクル充電を行い蓄電池が活性化されます。

7．蓄電池を長持ちさせるコツ

（1）　蓄電池が空（から）になる前に充電する

工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのを止め、充電します。
無理に使い続けると、蓄電池が痛み、寿命を短くします。

（2）　高温時の充電は避ける

工具を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。
すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。

⚠ 注　意

・差し込みプラグを電源コンセントに差し込んだ時、ガタガタだったり、すぐ抜ける場合は使用を中止し、修理へ出してください。加熱して故障の原因となります。

・充電する時は、蓄電池の形名印刷面が左側（ランプ側）を向くように差し込んでください。

・充電状態表示ランプが橙の早い点滅（周期0．2秒）を繰り返し、ブザーが「ピッピッピッ」と約5秒鳴る時は、蓄電池の取り付け穴に異物が入っていないかどうか確認してください。

異物が入っていない時は、充電器または蓄電池に異常があると考えられるので、充電器と蓄電池の両方を組にして修理に出してください。

・蓄電池を直射日光のあたる所に長時間放置したり、使用した直後など蓄電池が熱を持っている場合には、充電時間表示ランプが赤の点滅をして、すぐに充電を開始しない事があります。このような時は、蓄電池を充電器に差し込んだままにしてください。蓄電池が冷めると自動的に充電を開始します。

・充電中にランプが消灯した時は、修理に出される前に差し込みプラグを電源コンセントから抜き、3～5分以上待ってから再度差し込んでください。

・充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。

・充電時間の表示は周囲温度や蓄電池の状態により誤差が出る事がありますので、目安としてお使いください。

・一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。

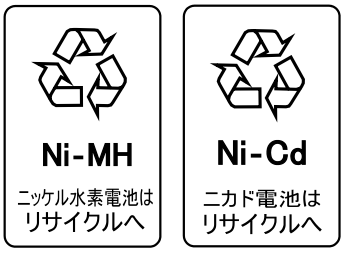
・使用後は充電器から蓄電池を抜いて保管してください。

・正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきた時は、蓄電池の寿命が尽きたものとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

寿命の尽きた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器の故障の原因になります。

蓄電池はリサイクルへ

この電動工具に使用の蓄電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
蓄電池や工具本体の廃棄の際は、リサイクルにご協力頂きますようお願い申し上げます。



作 業 前 点 検

次の1～3項については、「スイッチロック」をロック状態にし、蓄電池を本体に差し込む前に確認してください。

1. 蓄電池の状態を確かめてください。

蓄電池の外見に異常がないか、端子部がきれいで清潔であるかを確かめてください。

2. 損傷した部品が無いかを点検してください。

スイッチといった電気部品、カッターブレード（刃物）や本体に損傷した部分が無いかを点検してください。カッターブレード（刃物）および工具類は指定された純正部品を使用してください。

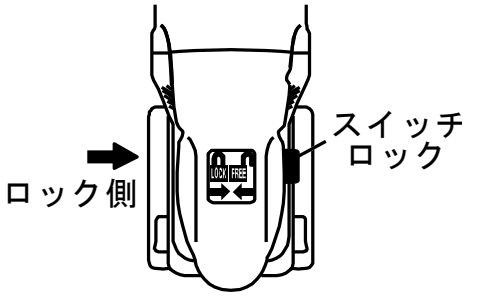
また、刃物においては新品または新品同様で破損、欠陥のないものを使用してください。

4. カッターブレードや各部の取り付けボルトを確認してください。

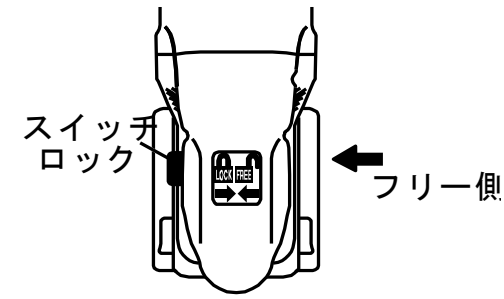
5. 試運転をしてください。

いきなり切断作業を行うのでなく、一度動かして正しく動作する事を確認してください。この時、異音・火花・動作不良などの機械の異常に気がついた場合には、直ちに運転を止め、点検・修理に出してください。

スイッチロック機構について



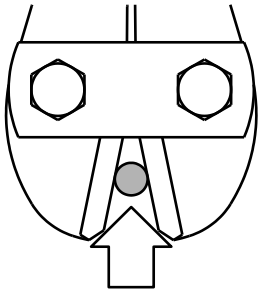
DSC－13には、不用意にモーターが起動しないように、ハンドル上部に「スイッチロック」が付いております。「スイッチロック」をロック側（右側）に押し込むとスイッチの引き金を引くことができません（左上図）。



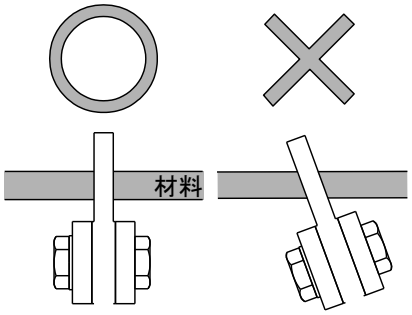
「スイッチロック」をフリー側（左側）に押し込むとスイッチの引き金を引くことができるようになり、モーターが起動します（左下図）。

ご 使 用 方 法

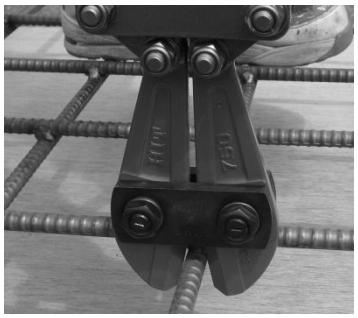
1. 安定した姿勢をとり、材料に対し垂直に、カッターブレードを深くはさみこむようにセットします。



材料を深くはさむ



材料に対して垂直に当てる



安定した姿勢で保持する

2. リリースバルブが閉まっていること、スイッチロックがフリー側（左側）になっている事を確認してください。

3. スイッチを押すと「はさみ」の要領で、カッターブレードの先端が狭くなり、材料を切断します。切断したら、スイッチから手を離してください。カッターブレードが元の位置に自動的に戻ります。

4. 使用中に何らかの原因で電源の供給が止まるなどして、材料を噛み込んだ場合には、六角棒レンチを使用してリリースバルブを開いてください。リリースバルブを約60° 緩めますと油圧が解除され、カッターブレードが自動的に戻ります。戻りきったのを確認してから、リリースバルブを元の位置に戻し、確実に締めてください。

⚠ 警　告

・最大能力を超えた作業はしないでください。また、PC鋼線などの硬い材質は切断しないでください。
・作業が終わりましたら、必ず蓄電池を本体から抜いてください。
・使用しない時はスイッチロックをロック側（右側）へ押し込んでください。

点 検 ・ 保 守

⚠ 警　告

・必ず蓄電池を本体から抜きスイッチロックをロック側（右側）へ押し込んで下さい。

1．使用後の手入れ

使用後は、皮手袋をして、カッターブレードまわりの鉄粉、ゴミなどを清掃してください。この時、エアーガンを使用すると鋭利なゴミが吹き飛び危険です。

2．各部取り付けネジの点検

各ボルトの増し締めは300～500回切断ごとに各ボルトの増し締めを行い、各部のネジがゆるんでいないかを定期的に点検してください。

3．表面の汚れ清掃

本機の外枠は強靭な合成樹脂ですが、ガソリン・シンナー・石油・灯油類を付着させると表面を痛めます。清掃の場合は、乾いた布、もしくは石けん水を付けた布などで拭いてください。

コードは油やグリースなどによって劣化しないように、表面の汚れを乾いた布などでふき取ってください。

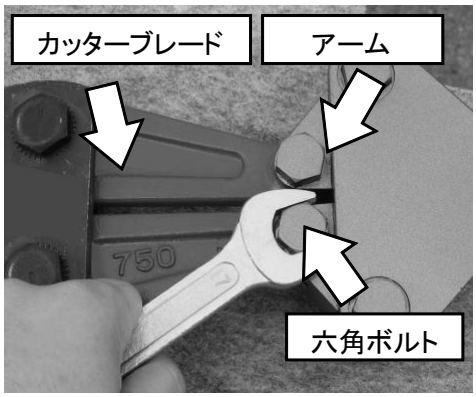
4．電動工具は次のような場所に保管してください。

・お子様の手が届かないところ、または錠のかかる不安定でない所
・温度や湿度の急変せず、直射日光や雨の当たらない、湿気のない、乾いた所
・引火または爆発の恐れがある揮発性物質の置いていない所

5．カッターブレードの交換

① 取り外し

付属のスパナ（17mm）で六角ボルトを緩めて外し、カッターブレードを取り外します。



② 取り付け

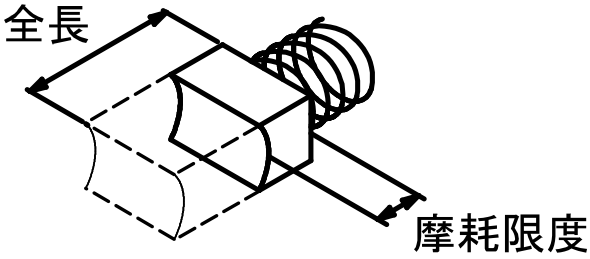
カッターブレードとアームの取り付け部に付着しているごみや汚れなどを布で拭き取った後、六角ボルトをスパナで締めつけます。この時、あまり強く締めすぎますと、ブレードの動きが悪くなる場合があります。その場合は、少し緩めることで解消されます。この時、アーム部分のボルトも確認してください。

（締め付けトルクの目安は「12N－m」です。）

カーボンブラシの交換方法

*カーボンブラシの交換は、必ず蓄電池を本体から抜いた状態で行ってください。

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。
カーボンブラシの摩耗が大きくなると、モーターの故障の原因になります。長さが摩耗限度になりましたら、新品と交換してください。また、カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし、ブラシチューブ内で自由にすべるようにしてください。



カーボンブラシの交換の際はセットで交換します。
カーボンブラシは弊社純正品をお使いください。

油圧オイルの補充方法

（1） カッターブレードの先端幅が約10mmになるまでスイッチを押し続けます。
（2） スイッチを切ったままの状態で、注油口を上にしてオイルプラグを外します。
（3） 注油口いっぱいまでオイルを補充します。
（4） オイルプラグをいったん締め、スイッチを入れカッターブレードを最後まで作動させます。
（5） カッターブレードの先端が限界まで閉じたら、スイッチから手を離し、カッターブレードが元に戻ります。
（6） （1）～（5）までの操作を2～3回行い、油圧オイルを満タンにします。
（7） 油圧オイルの補給後は、オイルプラグを十分に締めつけます。

⚠ 注　意

油圧オイルの補充は本体・油圧オイルの冷えた状態で行ってください。
オイル注入時には空気が入らないように注意してください。

ご 修 理 の 際 は

IKK製品は、厳密な精度で製造されておりますが、もし正常に作動しなくなった場合には、決してご自分で修理をなさらずにお買い求めの販売店または下記記載の株式会社 IKK 本社もしくは各営業所などにお申しつけください。
十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となりますので取扱説明書に記載されている以外の部品の取り付け・取り外しは行わないでください。

札 幌 営 業 所	〒003-0012　北海道札幌市白石区中央二条 6-4-18 TEL 011-865-6331　　FAX 011-865-6332
仙 台 営 業 所	〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東 1-2-8 TEL 022-231-0170　　FAX 022-238-9181
東 京 営 業 所	〒110-0003　東京都台東区根岸 5-13-16 TEL 03-5824-3588　　FAX 03-5824-3580
横 浜 営 業 所	〒240-0002　神奈川県横浜市保土ヶ谷区宮田町 1-3-1 TEL 045-340-2257　　FAX 045-340-2259
名 古 屋 営 業 所	〒454-0869　愛知県名古屋市中川区荒子 2-128-3 TEL 052-364-0385　　FAX 052-364-0386
金 沢 営 業 所	〒920-0363　石川県金沢市古府町南 297 TEL 076-269-2426　　FAX 076-269-2436
大 阪 営 業 所	〒578-0956　大阪府東大阪市横枕西 6-23 TEL 072-960-7707　　FAX 072-960-7708
広 島 営 業 所	〒730-0844　広島県広島市中区舟入幸町 16-15 TEL 082-503-5900　　FAX 082-503-5901
福 岡 営 業 所	〒816-0912　福岡県大野城市御笠川 4-11-24 TEL 092-504-3246　　FAX 092-504-3256

サンコーテクノグループ
株式会社IKK

本　社／〒410-0001　静岡県沼津市足高 396-59
TEL 055-922-8811　FAX 055-922-2880

下記ホームページにて弊社最新情報をお届けしております。

http://www.diamond-ikk.com